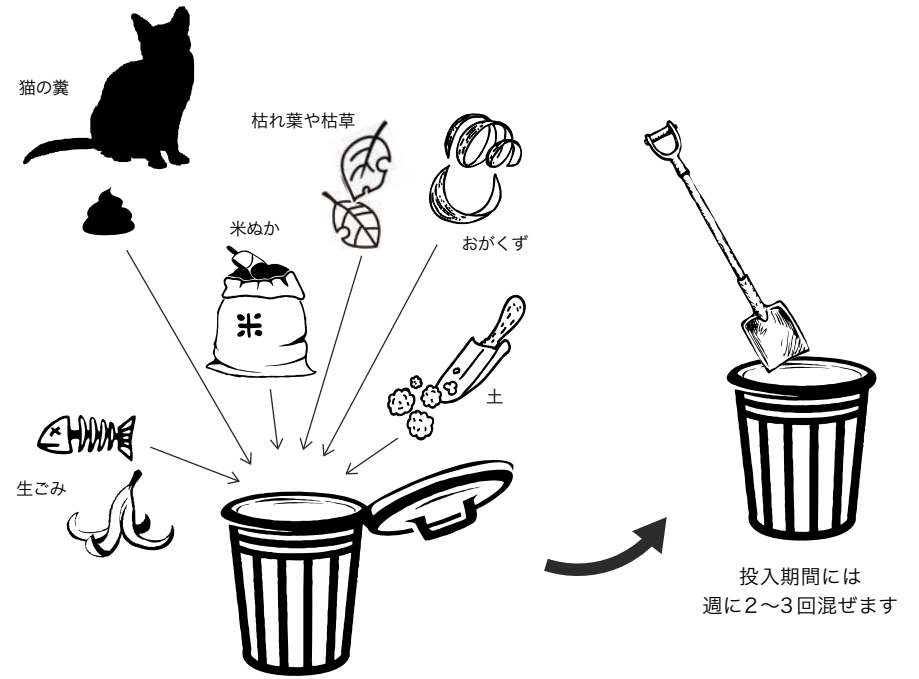
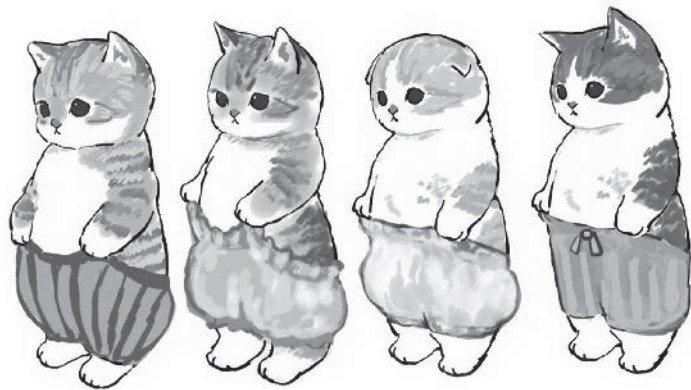


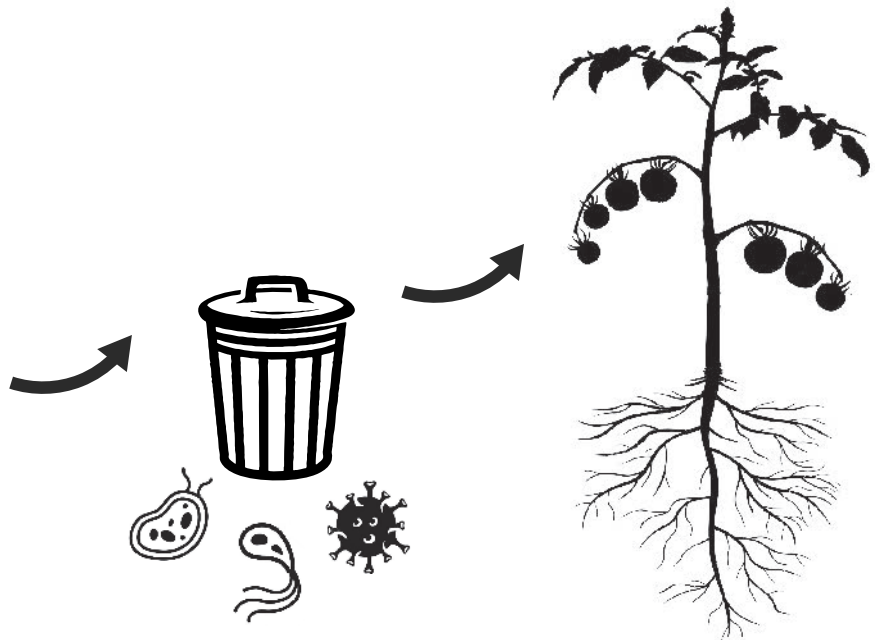
## 猫の糞を使った堆肥づくり



土壌菌で猫の糞を堆肥にします  
ついでに家庭の生ごみも堆肥化

### 【 準備するもの 】

- 容器… 投入する糞の数量で大きさを選定（70L～150L）  
※ 小さすぎると攪拌しにくいので大きめのものをオススメ。  
直径や深さにより攪拌のしやすさが変わります。
- 基材… 庭の土（何でも可、できれば畑や山の土）、おがくず、米ぬか、  
乾燥した落ち葉、干した雑草もOK（長い茎は小さくカット）。



熟成期間は週に1～2回混ぜます  
3カ月くらい熟成させると  
土壌微生物が糞や生ごみを分解

野菜や花がよく育つ  
堆肥が完成!

### 【 基材それぞれの役割 】

庭の土 …………… 土壌菌

おがくず …………… 内容物に適度な空気を含ませ ふかふかにします

米ぬか …………… 発酵促進、リン酸（実に良い）補給、水分調整  
※園芸用の大袋がお得

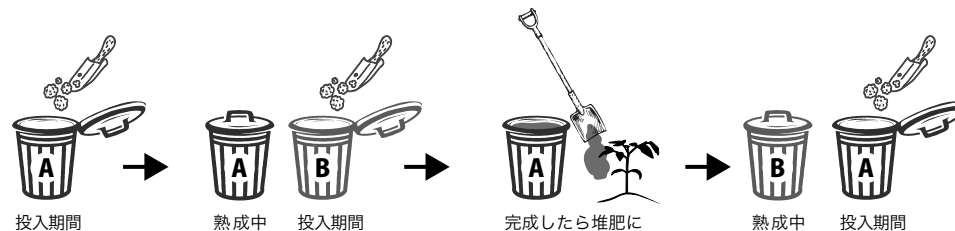
乾燥した落ち葉 …… 土壌菌、発酵促進、水分調整、養分補給

※ においが気になる場合は…

市販の消臭効果が期待できる「生ごみ用発酵促進剤」を活用しましょう

### 【 日常の管理 】

- ・糞や生ごみを投入したときは攪拌します。
- ・生ごみ投入などによって、湿気が高いと感じたら、乾燥したおがくず、米ぬかや落ち葉を投入しましょう。  
※ 落ち葉がベスト…分解されてカサが増しにくく、糞や生ごみの投入量に比例して土壌菌を補いたいときに土は重くなり攪拌しにくくなります。
- ・容器の約8分目まで溜まったら、新しい容器に切り替えて約3カ月の熟成期間に入りましょう。  
生ごみなどの固形物が確認される場合は、更に熟成期間を延ばしましょう。  
熟成期間は、1週間に1～2回攪拌して、空気を含ませましょう。



### 【 留意点 】

- ・調理済みの食物残渣は投入不可。塩分や油分が含まれるためです。
- ・魚の頭などはレンジ加熱して水分を飛ばして投入しましょう。
- ・雑草を投入する際は乾燥させてから。
- ・落ち葉は、針葉樹より広葉樹を。

## 【参考情報】

実験時の投入生ごみは→すべて分解されていました！

たまねぎ皮、バナナ皮、アボカド皮、柿皮、パパイヤ皮、  
かぼちゃなど種茶殻、コーヒー殻、卵殻、キャベツ芯、えのき石づき。

糞だけの投入より生ごみも投入することをお勧めします

生ごみもついでに堆肥化すれば、家庭ごみの量を減らせます。

なかなか分解されず推奨しないもの

小枝、地面を這うように増える雑草の横に伸びる部分、  
ススキなど固い茎。

糞の状態

約1か月で83個の糞を投入し、約3か月熟成させたら、  
糞の匂いは全くせず、内容物は細かい状態でした。

米ぬかの保存の注意点（大袋で購入した場合）

封が甘いと虫が入りこみ、ウジ虫が湧きます。  
長期間保存すると固まります。  
→「落ち葉やおがくずを混ぜることで、  
柔らかさをキープできるか」実験する予定。

庭の雑草の効果

庭の雑草は、敷地の養分を吸っているため、  
堆肥化することで養分を戻す効果があるようです。

